

幼稚園（年長）

しぜん大好き！

番組名 「しぜんとあそぼ」

実践者 旭川宝田学園わかば幼稚園

土井 沙織

自然の身近な面から普段なかなか目にするのできない部分まで、美しい映像でじっくりと見ることのできる番組です。

番組の使い方

活用のねらい

視聴を通して自然への関心が高まり、様々な気付きや活動への意欲が刺激される。

1年間継続視聴して友達と共感し合うことや意見を出し合う経験を重ね、子ども同士で話し合う力を育てる。

具体的な手立て

《番組視聴→視聴後の意見交流→事後活動》の流れで1年間継続して同じ番組を視聴する。

番組視聴で一人一人が感じたことをもとに活動を展開する。

保育の流れ

番組視聴（15分）

- ・視聴環境を整え、集中したところで番組名を伝え視聴する
- ・教師も一緒に番組を楽しむ
- ・視聴中のつぶやきや表情に着目する。

意見交流（10～15分）

番組を見ての感想や気付いたこと、疑問に思ったことなどを出し合う。

事後活動（20～30分）

- ・図鑑、パソコン等で調べる。
- ・番組で見たものを作る。（画用紙・廃材・粘土など）
- ・気付いたことや発見したことを絵や文字で表現する。
- ・番組で見たものになりきって遊ぶ。

1年を通した子どもの変化

【1学期】

視聴をしての感想や疑問はもつが、「おもしろかった」「ここが不思議だった」などの単純なものが多い。事後の活動も調べる活動がほとんどで、取り組まない子もいた。

【2学期】

番組をより詳しく見ることができるようになり、新たな発見や、番組で描かれなかったところに対する疑問をもっていた。また、発見や疑問について子ども同士で意見を交わすことができるようになった。事後活動にも全員が取り組むようになった。

【3学期】

話し合いの場面で子ども同士の議論が深まり、「一緒に調べよう」「一緒に観察しよう」と誘い合うようになった。事後活動も、調べる、観察する、作る、描く、ごっこ遊びなど多様な活動が展開されるようになった。

指導を終えて

《保護者アンケートより》

幼稚園でテレビを見ることにはじめ批判的だった保護者もいたが、事後の話し合いや活動で伸びる力を感じ肯定的に変わっている。（年少ではよさがわからないという保護者もいるが、年長ではほとんどの保護者がよいと答えている。）

回数を重ねるごとに視聴しての感想や疑問が深まり、子ども同士の議論も生まれてくる。また、事後の活動も様々な発想で取り組むようになる。

